

カンダにご縁のあった方にお届けします！

第35号

発行日：2010.10

酢豚に「パイナップル」



「あっとRANGE」

この記事は、営業部営業2課の「中野 孝行」が担当しました。
◆今、売れている商品や話題の商品の情報をご紹介いたします！

電子レンジを使用して調理する商品が昨今増えていますよね。調理方法を知らない、後片付けが面倒、忙しくて時間がない、などから簡単に調理できる商品として大流行です。そんな中、1つで4役こなす商品が登場しました。

その名も「あっとRANGE」！「焼く、煮る、蒸す、炊く」がなんとこれ1つで出来ちゃいます。早速使用してみました、実に驚くほど簡単。焦げ目もついて、そのまま器としても使えます。とは言っても大切なのは味ですが、これがこりやまたびっくり！実においしいです。嫁さんの手料理より美味しいかも？（ナイショ）なんでも、マイクロ波が直接材料に当たらないことが美味しさの秘密のようです。さらに、フッ素加工で簡単に洗えます。

また、外食産業も不景気。利益確保の手段として内部的経費削減を考えているのが実情です。業務用プロの道具を購入する主婦も多いですが、反対にプロが便利な家庭用商品を利用して調理する時代になっているのも事実。ぜひ、一度使用してみてください。ちなみに、レシピ本つきですよ。



業務部物流商品管理課 峰嶋 晴美

はじめまして、業務部の峰嶋と申します。早いもので入社して20年が過ぎました。この年齢に成りますと、健康が一番に感じられます。今、週に2日、火曜日と木曜日に、小学校の体育館でソフトバレーボールをおこなっています。



練習の前には井戸端会議でおもり上がりです。料理のレシピや、花、野菜の作り方などの話して雑学の勉強にもなります。バレーボールの練習は8時から9時半までしっかりしていい汗をかきます。大きな声をだいて、笑っていい運動になります。又、試合にも参加し楽しいひとときを過ごします。みなさんも参加しませんか？まっま〜す。笑顔をモットーにこれからも元気で頑張っていきたいと思えます。宜しくお願ひします。



知って得する！調理器具のマメ知識

この記事は、営業部営業2課の「池川 晃司」が担当しました。
◆このコーナーでは、調理器具のマメ知識やメンテナンス方法をお伝えします。

エコクリーンとは？

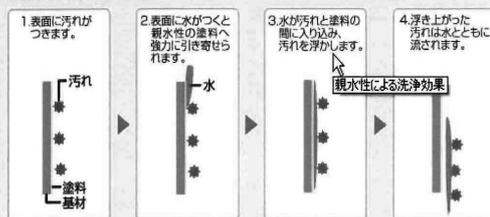
エコクリーンシリーズは、親水性(水と親和性が高い)無機系塗料焼付塗装による強力洗浄効果を持ったコーティング加工(ゼロクリア加工)製品です。無機系塗料→「炭素を含まない無機物」「自然の物」科学的に非常に安定している事が特徴で、硬く緻密な塗膜を作る。水だけで！きれいに洗浄頑固な油汚れも水だけで簡単におとせるので、洗剤使用量とすすぎに使う水を極端に減らしコストダウンに繋がります。抗菌・抗カビ効果で安心！食中毒の原因のバイ菌を防ぐ(塗料の中に抗菌効果が在るため。) (夏場はオススメ！)

【親水性による防汚効果】

腐食・シミの原因になりやすい食品や頑固な汚れを水だけで簡単に落とし薬品や酸にも侵されません。

汚染物質	対応
醤油	水洗いのみで簡単に汚れが落ちる
ソース	水洗いのみで簡単に汚れが落ちる
てんぷら油	水洗いのみで簡単に汚れが落ちる
焼肉のタレ	水洗いのみで簡単に汚れが落ちる
マヨネーズ	水洗いのみで簡単に汚れが落ちる
油性マジック	水洗いのみで簡単に汚れが落ちる

親水性による洗浄効果



エコクリーンのデメリット

商品単価だけを見ると、比較的高額である。パン・ピザの生地(発酵)させる調理には使用が不向き！(表面のゼロクリア加工の抗菌作用が働く為オススメ出来ない。)金タワシや金属ヘラの使用を避ける。



株式会社カンダ
〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)
TEL:0256-63-4541 (代表)
FAX:0256-64-2960
e-mail:kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/



私の趣味自慢！ お船の巻

この記事は、業務部物流商品管理課の「和田 清二」が担当しました。
◆この欄は、題材フリーにて、当社社員の思うがままをお知らせ致します。

今日は～、今回は(株)カンダ・シルバー軍団の一人和田清二がおおくりします。昨年はNHK大河ドラマ「天地人」が放映されましたが、その「天地人」の登場人物より紹介したいと思えます。その人の名は直江兼統ではなく、その妻のお船を取り上げたいと思えます。

お船はしばしば兼統を驚かせるほど大局的に物を見、激しく揺れ動く情勢のもとで何度も兼統は難しい決断を迫られるが、お船の助言や意見に支えられた。

又兼統を巧みに操縦していたとも思われる。

■■エピソード①■■

上杉家が百二十万石から三十万石に減らされた時、兼統がお船に相談したら、すかさず「人員整理はおこなわない」「給与改定の上薄下厚」すなわち従う者は拒まず、去る者は追わず、一番の下策は収入が1/4に減ったからといってすぐ家臣を減らすこと、又一律に1/4に減らさず、上の者が1/4になるのとヒラが1/4になるのでは、減らす率は同じでも手にできる額はヒラの方が少なく苦しくなると進言しました。

■■エピソード②■■

上杉景勝の妻お菊とお船が人質として京にいた時、無類の女好きの秀吉から「今宵の話し相手にまいられよ」と使いが来た時お船も一緒について行き秀吉の居間でお船がしゃべりまくり、深更になって閉口した秀吉が「もう寝よう、菊殿ごいっしょにいかがかな」と誘うとお船も「私もまいります」と立ち上がり「私も殿下に抱いていただきとうございます」とニッコリする。「ふたりで相手をしようというのか」「はい」秀吉は呆れてお船を見つめる。やがて「与六(兼統)の知恵か？」ときく。お船は首を振り「与六殿はそんな小賢い

男ではございません。一旦京へ行ったら毎夜のように殿下のお伽をつとめよと言われました。」「与六め」秀吉は舌打ちし「越後の女にはかなわぬ」と苦笑。秀吉の毒牙から逃れました。それはもし秀吉がお菊を切望した時、秀吉にどう対応するのか、それが自分の責務だと考え、その時は死を覚悟しなければならず、これは女の戦いで与六殿に心配をさせたり、口を出させたりすることではない。と考えていたからです。

■■エピソード③■■

秀吉が利休を処刑にその息子の道安も極刑にせよと命じた時、その道安が兼統にかくまってくれと訪ねてきた時兼統は断ったのですが、それを聞いたお船は「与六殿はいくじなしじゃ。上杉家は義に厚い家柄、困ったものがふところに飛び込んでくればこれを温かく胸に抱かれるのが謙信公のご性格【義】こそ上杉家の誇る旗印、それを与六殿は汚した」と言ったのち、しかしそれは越後でのこと、この京で義を通すのは無理、たとえ謙信公でも」人としての道と現在の状況判断の大切さを述べました。

■■エピソード④■■

直江兼統が死んだあと上杉家ではお船を「女家老」として家禄三千石を与えました。それは兼統の生前の功勞に対してではなくお船自身の能力を評価したのです。このことから兼統の死後も上杉家からいろいろな相談があったものと思われる。

■■追伸■■ 直江兼統は60才で生涯を閉じ、その主人の景勝は69才まで生き続けました。まだまだお船のエピソードはありますが今回はこの辺で続きは次回ということで。



社長のコラム、ちょっと気になること

この記事は、代表取締役社長の「神田智昭」が担当しました。
◆私が、ちょっと気になること、最近考えていることをご紹介します。

読書のすすめ

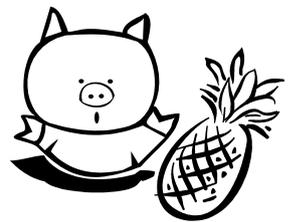
お元気ですか？

平素は、大変お世話になっております。やっと暑さも落ち着き過ぎしやすい季節となつてまいりましたね。

秋です。秋と言えば、食欲といいたいところですが、読書です。今年の私の目標に、読書を月に4冊、年間40冊とあります。少ないと思われる方もいらっしゃるでしょうが、何とか継続しております。その中で、面白かった本を紹介したいと思います。一番は、岩崎夏海氏の「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マシメント」を読んだら」です。まだベストセラーになる前に、高校野球というフレーズと表紙の女子マネージャーのもえとしたマンガの絵で即購入しました。大好きな野球と会社の経営を結びつけて読めるので私には最高でした。はずかしい話ですがこの本ではじめてドラッカー氏を知りました。2回も読みました。二番目は、永田俊也氏の「県立コガネムシ高校野球部」です。この本も表紙に高校野球という

フレーズと色っぽい女子のマンガの絵で書いてあり即購入しました。新鋭の女子ベンチャー社長が、気に入らない野球界のドンの子孫がいる有名私立甲子園常連校を無名の県立進学校の部長になり、仕事の手法を駆使し大胆なリーダーシップで高校生を引き付けその気にさせ、最後にその私立高校を破って甲子園に出場させるという本です。自分と主人公の女子を比べながら読んで時には共感し、時には反発しながら読めました。二冊とも購買した動機は、いやらしいものでしたがワクワクしながら読めました。目標に向かって計画を立て、不可能を可能にしていく手法や気力、そして行動、最後に目標を達成してしまう、元気の出るパワーをもらう本です。

読書がなかなか出来ない方、まずフレーズと表紙からです。自分の興味のあるものを簡単に読めそうと思うものから読んでいきましょう。面白い本に出合えるものです。いい出会いを求めて暇があれば本屋さんに行きます。でもなぜかしら本屋さんに行くとトイレに行きたくなるのは私だけでしょうか？・・・



酢豚に「パイン」

カンダにご縁のあった方
にお届けします！



株式会社カンダ
〒959-1272

新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)

TEL: 0256-63-4541 (代表)

FAX: 0256-64-2960

e-mail: kanda@kankuma.co.jp

http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>